

PRESS RELEASE

2018/2/23

2018/3/12 改訂

全館による所蔵作品展

視覚芸術百態

19のテーマによる196の作品

2018年5月26日(土) - 7月1日(日)

国立国際美術館



中原浩大《レゴ》1990-91年 国立国際美術館蔵

PRESS RELEASE

視覚芸術百態：19のテーマによる196の作品

国立国際美術館

開催情報

展覧会名 視覚芸術百態：19のテーマによる196の作品

英語名 The Myriad Forms of Visual Art: 196 Works with 19 Themes

会期 2018年5月26日（土）—7月1日（日）

会場 国立国際美術館（〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55）

開館時間 10：00—17：00 ※金曜・土曜は20：00まで（入場は閉館の30分前まで）

休館日 月曜日

主催 国立国際美術館

協賛 ダイキン工業現代美術振興財団

観覧料 一般900円（600円） 大学生500円（250円）

（ ）内は20名以上の団体料金

高校生以下・18歳未満無料（要証明）

心身に障がいのある方とその付添者1名無料（要証明）

夜間割引料金（対象時間：金曜・土曜の17：00—20：00）一般700円 大学生400円

無料観覧日 2018年6月2日（土）

一般のお客様からのお問い合わせ先 国立国際美術館 TEL: 06-6447-4680（代表）

URL <http://www.nmao.go.jp/>

交通アクセス

京阪電車中之島線「渡辺橋駅」(2番出口) から南西へ徒歩約5分

地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」(3番出口) から西へ徒歩約10分

JR「大阪駅」、阪急電車「梅田駅」から南西へ徒歩約20分

JR大阪環状線「福島駅」、東西線「新福島駅」(2番出口) から南へ徒歩約10分

阪神電車「福島駅」(3番出口) から南へ徒歩約10分

地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」、京阪電車「淀屋橋駅」(7番出口) から西へ徒歩約15分

市バス「大阪駅前」から、53号・75号系統で、「田養橋」下車、南西へ徒歩約3分

当館には専用駐車場はありません。周辺の駐車場は数に限りがあるため、ご来館は電車・バス等をご利用ください。

次回展 2018年7月21日（土）—10月14日（日）

「プーシキン美術館展——旅するフランス風景画」

開催趣旨

あらゆる領域において情報が氾濫し、グローバル化と多様化が進む今日では、美術館における収蔵品の展示方法も、時代別・地域別という正統な方法が充分には機能しなくなってきています。実際のところ、欧米の現代美術館にはテーマ別で常設展を実施するところも出てきています。この展覧会は、当館のコレクションを19のテーマに分けて紹介します。テーマとして選んだのは、いま改めて考えてみる意義が感じられるトピックで、それらは「作品の要素」と「描写の対象」に大別できます。展示作品は、テーマを象徴する典型的作品から意外に思えるような作品まで様々です。新収蔵品も約50点含まれています。時代・地域・ジャンルなどの基本的な美術の枠組みを大前提に選んでいます。多種多様な作品間のつながりが感じとれる組み合わせになっています。この特別な所蔵作品展は、各自が持つ美術についての知識を再確認するにとどまらず、新たな発見があり、美術を見つめ直すきっかけにもなるに違いありません。



村岡三郎《酸素—左手を頸動脈に》1991-92年



高橋尚愛《無題》1966年



オリバー・ピア
《これはチャーチワデデン・パイプである（右側）》
2014年



荒木悠《オラファー》2014年

すべて国立国際美術館蔵

PRESS RELEASE

視覚芸術百態：19のテーマによる196の作品

国立国際美術館

本展のみどころ

- 当館の展示室すべてを使う、大規模なコレクション展（出品作品総数196点）
- 現代の美術を理解するのに役立つ19のテーマ別の構成
- 最新の美術状況を踏まえた、柔軟な類似関係をベースにした作品の組み合わせ
- 新収蔵作品を多数初公開（約50点）

出品作家

バーネット・ニューマン、ピエロ・マンゾーニ、高松次郎、アグネス・マーチン、イミ・クネーベル、五月女哲平、フランク・ステラ、ジョセフ・コースス、村上友晴、マーク・クイン、内藤礼、秋吉風人、リチャード・タトル、リンダ・ベングリス、中原浩大、篠原有司男、荒木悠、リチャード・オードリッチ、ヘンリー・ムア、宮脇愛子、岡崎乾二郎、竹岡雄二、岡崎和郎、ダン・フレイヴィン、フェリックス・ゴンザレス＝トレス、アントン＝ヘニング、マイク・ケリー、マルセル・デュシャン、工藤哲巳、ダーン・ファン・ゴールデン、島山直哉、トニー・アウスラー、ライアン・ガンダー、ヴォルス、ジム・ダイン、三木富雄、ローリー・シモンズ、トーマス・ルフ、イリヤ・カバコフ、ヤン・ディベッツ、関根伸夫、ロイ・リキテンスタイン、タイガー立石（立石紘一・立石大河壱）、シュテファン・バルケンホール、斎藤義重、ルーチョ・フォンタナ、ジグマー・ポルケ、ジャン＝ピエール・パンスマン、アンソニー・カロ、ミケランジェロ・ピストレット、ベルトラン・ラヴィエ、ゲルハルト・リヒター、ヨーゼフ・ボイス、オリバー・ピア、パブロ・ピカソ、ジャン・フォートリエ、アルベルト・ジャコメッティ、ゲオルク・バゼリッツ、リチャード・ハミルトン、ジョン・カリン、リュック・タイマンズ、マリノ・マリーニ、ジャン＝ピエール・レイノー、舟越桂、エルヴィン・ヴルム、柳原義達、八木一夫、森山大道、吉野辰海、落合多武、キキ・スミス、ジャン＝マルク・ピュスタモント、柴田敏雄、マン・レイ、ジョルジョ・モランディ、アルマン、レイチェル・ホワイトリード、小林孝巨、高柳恵里、小石清、中西夏之、トニー・クラッグ、宮本隆司、竹崎和征、ハミッシュ・フルトン、河原温、エドワード・ルツシェ、山城隆一、アンディ・ウォーホル、横尾忠則、シェリー・レヴィーン、小川信治、マルセル・ブローターズ、ウテ・リンドナー、カンディーダ・ヘーファー、メル・ジューグラー、高橋尚愛、李禹煥、ドナルド・ジャド、ベルント&ヒラ・ベッヒャー、村岡三郎、ニエーレ・トローニ、マックス・エルンスト、モーリス・ルイス、元永定正、柳幸典、ベルナール・フリズ、オノデラユキ、ヴォルフガング・ティルマンズ

PRESS RELEASE

視覚芸術百態：19のテーマによる196の作品

国立国際美術館

関連イベント

[講演会]「作品と類似：コレクション展のキュレーションについて」

6月2日（土）14：00 —

講師：中西博之（当館主任研究員）

会場：国立国際美術館 地下1階講堂

参加無料、先着130名、当日10：00から整理券を配布します

[ギャラリー・トーク]

6月16日（土）15：00 —、6月29日（金）18：00 —

会場：国立国際美術館 展示室

参加無料（要観覧券）、開始30分前から聴講用ワイヤレス受信機を貸し出します（先着90名）

広報画像

このプレスリリースに掲載した画像を広報画像としてご用意しています。

本展の広報を目的とした場合に限り、ご使用いただけます。

「広報画像申込書」にて申請していただきますようお願いいたします。

「広報画像申込書」は、国立国際美術館のホームページからダウンロードしていただけます。

国立国際美術館「プレスの方へ」 URL <http://www.nmao.go.jp/press/>

画像と一緒にお送りするキャプションおよびクレジットを明記してください。

画像のトリミングや、画像に文字を重ねての使用はできません。

インターネットに掲載する場合は、無断転載禁止の旨を明記のうえ、ダウンロードできないように加工してご使用ください。

会期・会場・画像キャプションなどの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階で広報担当までメールまたはFAXにてお送りください。

掲載（放映）終了後に、掲載出版物または録画メディアを広報担当宛にお送りください。

インターネットに掲載した場合は、URLをお知らせください。

画像の二次利用や転載はお断りいたします。使用後は画像データを破棄してください。

広報に関するお問い合わせ先

国立国際美術館 学芸課 広報担当 冬木明里

E-mail: kouhou@nmao.go.jp TEL: 06-6447-4671(直通) FAX: 06-6447-4698(学芸課)

展覧会担当

中西博之（当館主任研究員）